資料4 研修プログラム参加前後アンケート結果資料

がん医療における自殺対策研修会

目的：がん患者の自殺リスクに関する医療者の理解と院内の自殺対策を促進する

対象：院内の自殺対策・がん医療に関わる医療者

研修会の目標：　①がん患者の「自殺リスク」の現状と背景を知る
ー数字や事例を通して、がん医療における自殺の実態を理解します
②自殺を「防ぐ」ために、私たちにできることを考える
ー院内でできる対応、チームでの連携のヒントを学びます
③自施設での「次の一歩」を描く
ー自分たちの現場に合った、自殺予防の取り組みを検討します

研修会内容

事前学習と準備	課題１ 資料による学習 「がん医療における自殺対策の手引き」 「がん診療に携わる病院の自殺対策マニュアルおよびフローの推奨項目」 課題２-１）資料による学習「院内の自殺対策（一次予防、二次予防、三次予防）に関する動画」視聴 課題２-２）現在実施している自殺対策について振り返り、ワークシート記入
研修会当日 グループワーク	課題２-３）自殺対策の促進・阻害要因の検討 課題２-４）課題克服の検討 課題３ 現場に合った自殺予防の計画

がん医療における自殺対策研修会

研修会参加前後アンケート調査

対象：院内の自殺対策・がん医療に関わる医療者

方法：参加前アンケート調査

調査項目：職種, 自殺対策マニュアル・フローの有無, 研修会経験の有無

Attitude to Suicide Prevention日本語版 (ASP-J)

自殺予防に対する医療従事者の否定的態度の測定に焦点化した14項目の自己記入式質問票

より低いスコアが好ましい

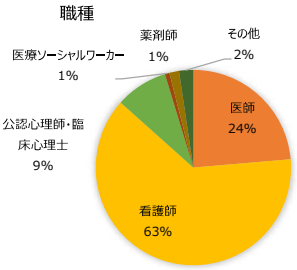
参加後アンケート調査

調査項目：目標の達成度, 研修会満足度, ASP-J

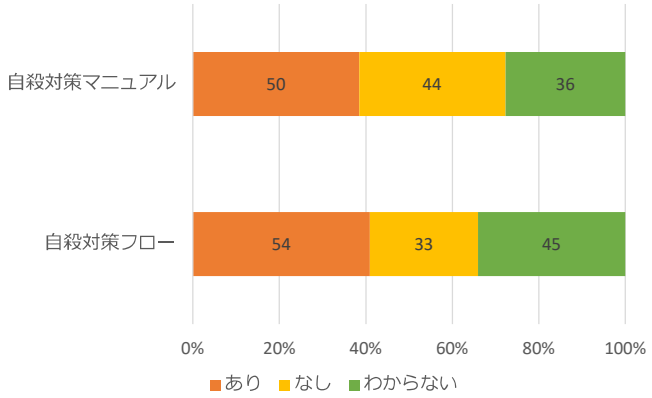
結果

実施期間：2025年10月～2026年1月
実施回数：5回

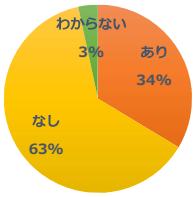
参加者背景（N=132）



自施設の自殺対策（N=132）

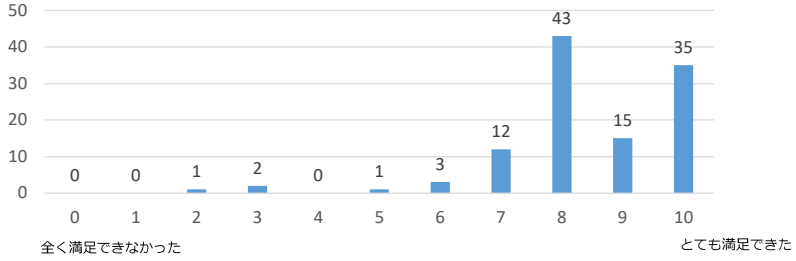


自殺対策研修会参加経験（N=119）



結果

研修会全体の満足度（N=112）

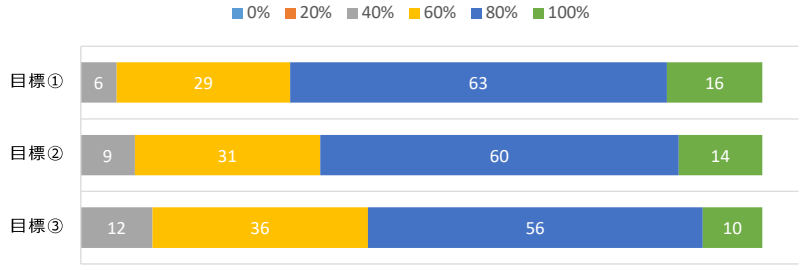


Attitude to Suicide Prevention*
（合計点平均, 標準偏差）

参加前（N=104）	参加後（N=114）
32.9, 6.1	30.1, 6.3

*自殺予防に対する医療従事者の否定的態度の測定に焦点化した14項目の自己記入式質問票より低いスコアが好ましい

目標の達成度（N=114）



研修会の目標
①がん患者の「自殺リスク」の現状と背景を知る
②自殺を「防ぐ」ためにできることを考える
③自施設での「次の一歩」を描く

がん医療における自殺対策研修会

考察

・5回実施した結果、参加者は132名であり、研修中の脱落はなく、全員完遂可能であった。

・自殺対策マニュアル/フローがあると回答した参加者の割合は38-41%であり、わからないと回答した割合は27-34%であった。
自施設に自殺対策マニュアル/フローがあっても認知されていない可能性が考えられた。

・研修会の満足度、目標の達成度とも高い評価が得られた。

・自施設の自殺対策について振り返り、確認することにより、参加者の自殺対策に関する認識を高め、対策の推進につながる可能性がある。

・グループワークでは、各施設での課題が話し合われ、自殺対策研修のニーズが感じられた。